

首都圏本部

安全・安心な鉄道利用に向けた「エキマトペ」の実証実験を実施

12月14日まで、上野駅の1・2番線ホームに流れるアナウンスや電車の発着などの音情報を文字や手話で表現する「エキマトペ」の実証実験を実施中。視覚化された音情報が、自動販売機上部の専用ディスプレイに表示されます。テレビなどメディア各社で報道され、耳の不自由な方から筆談で「いいね!」とお伝えいただくなど、反響が寄せられています。



横浜支社

自動改札機ドアカバーに鉄道開業150年を盛り上げる装飾を実施

鉄道開業150年の機運醸成を目的に、横浜駅の一部、桜木町駅、関内駅の自動改札機のドアカバーに鉄道写真の装飾を3月末まで実施しています。鉄道開業150年のロゴマークと、過去に横浜エリアを走行していた歴史を感じられる車両が並んでおり、鉄道開業150年を盛り上げる取組みとなっています。お近くへお越しの際は、ぜひご覧ください。



八王子支社

JR東海と連携して夏の山梨の魅力进行PR

山梨県特別観光キャンペーンに合わせ、JR東海 静岡支社と初めて連携した「山梨県観光キャラバン」を8月4日に静岡駅で開催しました。甲府営業統括センター社員と甲斐国イノベーションプロジェクトのメンバーが作成したVR動画を活用した観光体験や、パンフレット配布、着ぐるみなどのおもてなしで、夏の山梨の魅力进行PRしました。



大宮支社

大宮駅に「Eki Tabi MARKET」をグランドオープン

6月30日、大宮駅に「Eki Tabi MARKET(えきたびマーケット)」がグランドオープン。4月に先行開業した「JR東日本 駅たびコンシェルジュ大宮」に加えて、「イベントスペース」「シーズンショップ『コレもう食べた?』」「STATION BOOTH」などが開業しました。毎日の暮らしを便利にするサポート機能と、各地の魅力を楽しんでいただく情報発信機能を備えた“地域・地方とつながる”新たな場を、大宮駅から展開していきます。



高崎支社

小学生向けの自由研究イベントを開催

8月9~10日、高崎車両センターと新前橋運輸区で小学生向けのイベント「自由研究は『電車の動くしくみ』で決まり!」を開催しました。授業の後は、電車の加速や減速をつかさどる制御器の模型の操作や、実際の211系車両でドアの開閉操作、車内放送などの体験、乗務員訓練用シミュレータを用いた制動距離の実験など、電車の動くしくみを楽しく学んでいただきました。



水戸支社

「水郡線全線運転再開1周年感謝祭」を開催

2019年に発生した台風19号の影響により運転を見合わせていた水郡線が、2021年3月27日の全線運転再開から1周年を迎えたことを記念し、3月26・27日に「水郡線全線運転再開1周年感謝祭」を常陸大子駅周辺で開催しました。構内見学ツアーなど、イベントを多数ご用意し、これまで水郡線を支えていただいた皆さまに感謝の気持ちをお伝えするとともに、水郡線の魅力を存分にお楽しみいただきました。



千葉支社

「わかしお」「さざなみ」運行開始50周年記念ロゴを決定

5月31日、特急「わかしお」「さざなみ」運行開始50周年記念ロゴを決定しました。千葉支社・グループ会社から149件の応募があり、審査の結果、千葉運輸区の石山雄太さんと堀 智也さん発案のデザインが選ばれました。今後、車両ラッピングや座席のヘッドレストカバーといった、独自宣伝物などに活用し、支社一丸となって50周年を盛り上げていきます。



長野支社

「第1回長野支社ウォークラリー」を開催

9月3日、松本駅周辺において「第1回長野支社ウォークラリー」を開催しました。コロナ禍の状況を鑑み、新たな形での機関長レクリエーションとして開催し、約500名が参加しました。今回は松本駅社員が考案した「駅からハイキング」のコースを使用したことで、「駅からハイキング」の浸透とともに社員・家族のコミュニケーションを育み、交流を図ることができました。



東北本部

約11年ぶりに只見線 会津川口～只見間で列車を運行

2011年7月の新潟・福島豪雨により不通となっていた只見線 会津川口～只見間では、数々の復旧工事を経て、7月20日に試運転を実施し、運転再開のための設備確認が完了しました。7月21日からは訓練運転を開始し、10月1日より福島県との上下分離方式による全線での運転を再開しました。



盛岡支社

「はやぶさ」「こまち」の連結見学イベントを開催

7月24日と8月21日、盛岡駅で「新幹線ホーム下に潜入！『はやぶさ』『こまち』の連結を見てみよう！」を1日6名様限定で開催しました。盛岡駅ならではの連結シーンをホーム下から見学したほか、駅長服での記念撮影や新幹線ホームでの放送など、特別な体験を満喫していただきました。



秋田支社

「秋田竿燈まつり」で演技を披露

8月3～6日、3年ぶりに開催された「秋田竿燈まつり」にJR東日本竿燈会が参加し、差し手による力のこもった演技で観光のお客さまを魅了しました。日中に行われる竿燈妙技大会では、長さ20m近い大きな竿燈（大若）を額や腰などで支える豪快な技で競い合い、大若団体自由演技では準優勝、小若団体規定演技では優勝に輝きました。



新潟支社

三条市と地方創生・地域活性化に関する連携協定を締結

7月5日、燕三条駅にて新潟県三条市の滝沢市長と小川新潟支社長が、地方創生および地域経済の活性化を目的とした連携協定を締結しました。2022年度冬に地方創生型ワークプレイス「JRE Local Hub 燕三条」を開業することで、燕三条エリアのものづくり拠点を結び、ビジネスマッチングや人材育成などを行っていきます。



「JR目黒MARCビル」に事務所移転

5月9日、東京建設プロジェクトマネジメントオフィス、電気システムインテグレーションオフィス、構造技術センターが、目黒駅と五反田駅の間に建設された「JR目黒MARCビル」に移転しました。今回のオフィス移転という変化をチャンスと捉え、新しい仕事の進め方や変革のスピードアップに挑戦していきます。



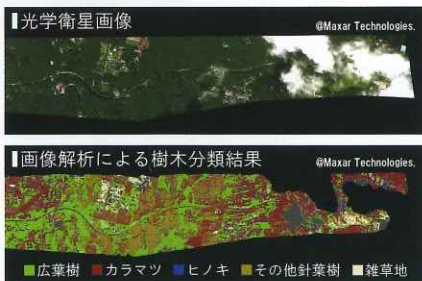
懐かしの200系カラー新幹線を運行開始

「新幹線YEAR2022」に合わせ、社員の発意が形になった懐かしの200系カラーの新幹線（E2系）を6月9日より運行しています。運行開始前には新幹線総合車両センターでの出発式や報道公開を実施したほか、車内では「ふるさとチャイム」で当時の雰囲気演出しています。200系カラー新幹線の運行情報は、「新幹線YEAR2022」専用ホームページでお知らせしています。



JAXAの「第3回地球観測研究公募」に採択

当社では、人工衛星を利用したリモートセンシングの応用研究として「植生の活性状況把握による除草の支援」や「落葉の検知」に取り組んできましたが、今回、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）の最新衛星を利用した「第3回地球観測研究公募」に応募し、採択されました。今後は、さらに応用研究を進め、JR東日本グループの鉄道事業をはじめとした安全・安心に寄与していきます。



商号を変更し、本社事務所を移転

6月1日付で商号を「株式会社JR東日本ビルディング」に変更し、本社事務所をSOUTH GATE新宿（当社運営ビル）に移転しました。これまで本社は2フロアに分かれていましたが、移転を機に1フロアへ集約。個人の仕事に合わせてモニター席やカウンター席、集中席などを選択できるようにし、働きやすさが格段に向上しました。



新ブランドコミュニケーション「ここでほっこり。」をスタート

東京ステーションシティは、より多くの皆さまにこの街が持つ価値や魅力を伝えるため、新ブランドコミュニケーション「ここでほっこり。」を7月末よりリリースしました。コロナ禍においても、ホスピタリティを忘れずに働いている東京ステーションシティの会員企業・スタッフの日常を、ほっこりするようなイラストやメッセージにまとめ、東京駅各所に掲出・発信しています。



「グランスタ八重北」に10店舗がオープン

東京駅八重洲北口改札外の「グランスタ八重北」で、今年4月の第1弾開業に続き、8月から10月にかけて第2弾となる全10店舗がオープン。今回の開業で「グランスタ八重北」は、32ショップが集まる東京駅の一大飲食店街になりました。

